

# 水 土里の路・湯沢大堰 ウォーキング&ウォッチング

水土里ネット湯沢中央では、6月～10月にかけて湯沢市内の小学校4年生を対象に、水の学習（上下水道、農業用水）や地域発展につくした人々などの学習に併せて、土地改良区や土地改良施設について学んでもらおうと出前学習・施設見学を開催。農業農村の役割と働き、田んぼの果たす役割などを学習した後、「湯沢大堰」を見学し、水土里ネット職員が施設の機能や歴史の説明を行いました。

現地の施設では、生き物調査や強酸性水と田んぼへ掛かる水とを試薬で比べたりしながら、水路へゴミを投げないこと、水をきれいにすることの大変さ・大切さなどを実感していただきました。

秋には、湯沢市内を会場に、“水土里の路ウォーキング”を開催し、小学生や市民、周辺地域から約250名が参加。湯沢大堰沿いの6kmと10kmコースにチャレンジした。参加者には、地域の名所・旧跡や農業用水の役割を紹介したパンフレットなどを配布して、水利施設の重要性をアピールするとともに、地域住民の安らぎにもなっている“水辺空間と佐竹南家400年の歴

史”にもふれながら、心と体の健康づくりに汗を流していただいた。

ウォーキングを通じて完歩者の爽快な笑顔の中にも、400年も前に築かれた農業水利施設の持っている役割や、地域資源としての多面的機能を有していることなどの認識を高めるきっかけにもなったと思う。

実施主体：水土里ネット湯沢中央（湯沢市中央土地改良区）

共催・後援：県雄勝地域振興局農村整備課、湯沢市農林課、湯沢市教育委員会、雄勝地方土地改良協会、水土里ネット秋田

実施期間：平成16年6月28日、9月13日、9月22日、10月13日、10月23日、10月26日



「私たちは、水の大切さを子供たちに伝えていきます。」

水土里ネット湯沢中央  
高橋和美

## 活動実施後の自己評価 水土里ネット湯沢中央

判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			3. 継続性・発展性について		
① 役職員の理解度	A	役職員一体で取り組んでいる	① 継続した活動の展開	A	出前授業等は効果的な活動
② 運動の取組体制	A	役職員一体で取り組んでいる	② 運動の着実な発展・展開	A	新たにウォーキングを実施
③ 組合員の理解度	B	徐々に理解してきている	③ 運動計画の設定	B	小学校との連携強化を展開
2. 活動の意図性について			④ 運動効果の発揮	B	ウォーキングの実施で役員以外にも効果
① 基本理念の設定	B		4. 行政・地域住民との連携について		
② 地域住民への明確なPR	B	参加者多数（明確なPRが出来た）	① 地域住民・教育機関との連携	A	小学校との強い連携が確立
③ 持続可能な体制（経費を含む）	B	行政等の協力・助成が必要	② 積極的な情報発信	B	HP開設予定
④ 地域の歴史等の伝承	A	管内の各小学校で出前授業を実施	5. 今後の課題等について		
⑤ 本来業務に関する新たな取組	D	OA化等への取組が必要			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他